



むらさん

第7号

発行者

山形県立村山産業高等学校
PTA広報委員会

印刷

中央印刷(株)村山支店
TEL 0237(55)3700

新入生宣誓 1-4 太田心之介



電子商取引授業風景



鳥獣駆逐装置利用打ち合わせ



挑戦と変化～開校4年目～

入学式 在校生による校歌紹介



進路講演会



3年キャリアアップセミナー



三十年前には、世界のあらゆる情報が手のひらサイズのスマートフォンから受発信できるなど想像できなかった。同様に、生徒が四十代後半になる三十年先の日本が想像できますか？その頃は、確実に少子化が進み四十代後半の人口が今より半分以下になる。単純な作業はロボット化し、人口知能の進化により日常生活の殆どの操作は自動化される。本校では、こうした三十年先を見据えて、お子さんが



保護者の皆さんへー三十年先が見えますか？ー

校長 榎 誠司

ロボットに支配されることなく、自分の意思と判断を必要とする職業に身を置き、リーダー的ポストで活躍できる人材を目指している。世界から日本を覗いて学び常識にとらわれない奇想天外な発想を養うためにドイツ、オランダ、デンマーク、シンガポールへ村産生を派遣した。生徒の様子は本校HPでご覧になれる。三十年後には多くの村産生が企業のリーダーとして活躍しているだろう。



絆

PTA会長 矢萩 誠

日頃よりPTA活動にご協力頂き、誠にありがとうございます。

りが深く、強い絆で繋がりが、そして、お互いに学ぶ機会に恵まれています。

早いもので、村山産業高校も開校四年目を迎えました。まだまだ村山産業高校としての歴史は浅いですが、生徒達を始め、先生方やPTA会員の皆様、そして地域の皆様の力があつてこそ絆が生まれ新しい歴史が築かれていくのだと思います。

これが村山産業高校の強みであり、地域に愛され続ける魅力でもあります。この絆を大切に、更なる活躍と発展に期待いたします。私たちPTAはこれからも社会と子ども達との架け橋となれるよう全力で支援して行きたいと思っています。

東北地区高P連盛岡大会

P T A 会長 矢萩 誠

「描け・ドリームマップ」世界への架け橋を郷土から」をテーマに七月六日・七日に開催されました。

オープニングの詩の朗読や演奏会は高校生ながら大変素晴らしいものでした。

各県代表校のP T A活動発表では、特色ある活動で生徒や地域との絆を深めており大変勉強になりました。

この大会を経て、私も地域に根ざした活動が大事だと改めて気付かされました。



前会長東北大会にて表彰



県高P連研修会

P T A 副会長 大河原裕之

六月九日、「絆を育むP T A」親子の絆を深め、地域とつながる」をテーマに第六十四回県高P T A連合会研修会が上山の地で開催されました。

研究発表として三校よりP T A活動について説明があり、とても参考になる素晴らしい発表でした。桐生正幸氏の講演会では、「高校生を取り巻く犯罪を考える」の演題のもと、犯罪心理学を用いて未成年者を取り巻く犯罪事象や予防策など講演いただき、家族はもちろん、地域とのつながりの深さを勉強させていただきました。



生徒会紹介

生徒会長

矢野 瑞樹

今期の生徒会はいさつ運動を風紀委員会とともに行ない、あいさつで学校を明るくできようがんばっています。今後の大きな活動として、「村産祭」があります。「まろくず祭」から「村産祭」へ変わった文化祭、これまで以上に地域の人々が参加しやすいイベントにできるようにがんばりたいです。



Course 農業経営科

農業経営科は、農業の基礎基本の学習から農業の六次産業化を図るために必要な知識と技術を身に付けさせることまでを学習目標としています。

昨今、「農業の六次産業化」ということばをよく耳にしますが、一次産業である農業がしっかりといていないことには、「六次産業化」そのものが根底から揺らいでしまします。

そこで、一学年では「原料となる農作物がしっかりと作れる」を目標として農業学習に取り組んでいます。その上で、二年からの生産技術コースではより高品質の農作物生産に、加工流通コースでは加工品づくりと地域の特産物づくりに取り組んでいます。



Course 農業環境科

農業環境科は、草花の生産やフラワーアレンジメント、森林管理や測量、土木に関する幅広い分野について学習を行う学科である。地域との連携では、ペニバナの開花期調節の研究を行い、南東北インターハイや技能五輪において展示



を実施、バラまつりにおけるブライブドフラワー製作体験の開催などを行っている。また、校内では、演習林への東屋設置やオリジナル庭園の製作も行っている。

Course 機械科



この四月、三名の新入生が機械科に入学しました。さらに村山産業高校になって初めて機械科に女子生徒（岡田唯那さん）が入学しました。

今まで物置になっていた女子更衣室を慌てて片付けて新学期を迎えました。四月十二日には、機械科の新入生歓迎会を行いました。ものすごく緊張している中にも希望に満ちた初々しさが感じられる三四名でした。



四月二十日には、昨年度、技能検定試験に合格した生徒の合格認定証が届けられました。三級普通旋盤に四名、三級シーケンスに一名、三級機械検査に六名の合計十一名の合格者です。一昨年に比べると四名の増加となりました。

六月十二日には、三年生の工場見学を行いました。この工場見学

をきっかけに具体的な進路の目標を決め、昨年度と同じよう、一発で全員就職試験に合格できるように頑張つて欲しいものです。

今年は、東北インターハイが山形県で開催されます。この新聞の発行日には、すでに終わっていると思



いますが、本校もいろいろな形で、インターハイのお手伝いをしました。機械科では山形空港にインターハイの総合案内所を設置するため、案内所製作を行いました。

Course 電子情報科

電子情報科は、「再生可能エネルギー」についての学習をはじめ、高度な資格試験に挑戦し、最先端の情報通信技術を学ぶ学科です。

電子情報科は学習活動の一環で地域のイベントに積極的に参加しています。昨年行われた山形空港でのイベントでは燃料電池電車を走らせました。来場された子どもたちや親御さんに大人気でした。村山市内の中学校への出前授業



では生徒が中心になり中学生に電気についてわかりやすく体験してもらおう活動も行っています。

また、昨年は職員と生徒が先端の工業技術を学ぶ海外フロンティア事業に参加し、ドイツを訪問してきました。



にある2つの工業系の専門学校において、課題研究で製作した超音波による有害鳥獣駆逐装置について英語での発表を行い、装置を寄贈してきました。

Course 流通ビジネス科

流通ビジネス科は、今年度四期生を迎え、一年生四十一名、二年生三十五名、三年生三十五名の総勢一一一名になりました。一年生は、授業・部活動に懸命に努力し

ており、大変順調な滑り出しです。初めての検定試験も経験し、目標に向けて努力することの大切さ、合格した時の喜びを体験してくれました。自分に自信を持ち何事にもチャレンジして欲しいです。

二年生は、学年全体で「インターシップ」に取り組みましたが、流通ビジネス科は、七月の十日、十二日の三日間、天童市、東根市、村山市、尾花沢市などの十五の事業所に分かれて行いました。商業科らしい、スーパーマーケット、販売専門店などが多かったのですが、税務署や市役所、商工会、美容院などでも受け入れて下さり、進路希望に合った事業所で体験させていただきました。生徒たちの頑張りを受入事業所の方々から良



い評価をしていただき、たいへんいい勉強になりました。三年生は、就職・進学に向け、おののやるべきことを見極め、努力しています。現在の求人状況は、昨年にも増して求人数が多く感じられ、進路指導部のご協力のもと、就職・進学に向けて、生徒たちの一生懸命な取り組みを後押ししていきたいと思ひます。生徒一人一人の進路の達成を目標に学科としても頑張つていきます。

☆全国高等学校観光選手権大会（第九回観光甲子園）二年連続決勝大会出場決定!!

全国から応募されたプランから予選審査され第一位に選ばれ、決勝大会八チームに入り決勝大会への出場が決定しました。出場チームは、流通ビジネス科三年五組の課題研究（観光班）の堀井佑斗（山形十中）、清野翔太（天童四中）、伊藤帆乃香（神町中）、後藤瑞奈（河北中）の四名です。プラン名は「サムライ・ヤマガタ」侍文化が生きた街山形で、刀剣乱舞の世界を体験!!で、商業科の伊藤高先生（指導のもと、八月二十四日に神戸ハーバーホールにて開催される決勝大会に向け、四名の生徒は夏休みを通して、プレゼンの準備を頑張ります。

農業経営科三年

東海林さつき

私たちは二月十四日から二十日の八日間、オランダに海外研修へ行ってきました。目的は大きく二つあります。一つ目は、オランダ

は農業分野における輸出額が世界第二位であり、農業の先進国です。そのオランダでは、どのような農業をしているのかということを知ることです。二つ目は、オランダの農業学校などで現地の生徒と交流することです。

多くの施設や設備、学校を見学した中で、特に印象的だったのがAgripot-ATです。ここでは、主にパプリカやトマトを栽培していました。広大な温室の中で、野菜が栽培されており、工場の様な状態でした。水耕栽培で一度使用した水をろ過や紫外線殺菌を行い、再利用すること使用後のロックウールをレンガや敷石として再利用するなど環境



境に配慮した農業を実践している上に、無駄がないという印象でした。様々な場面でもオランダ人の気質「合理主義」を目の当たりにしました。

オランダでは、二つの学校を訪問しました。現地の生徒さんが英語で話しかけてくれるのですが、中々理解できずに歯がゆい経験をしました。コミュニケーションができないという感覚を感じ、これを機会に英会話の勉強をしたいと強く感じました。

オランダは、国土のほとんどが低地であり、農地が少ない国です。この点は日本も同じです。しかし、オランダの場合は、様々な方法を用いて農業生産性を向上させた上に、環境に配慮した農業を行っていました。オランダを訪問し、様々な場所を見学し、町をめぐることで、世界第二位の農業輸出国となった理由が少し分かった気がします。

奥山 修平 農業経営科2年
奥山 一希 農業経営科2年
笹原 龍平 農業経営科3年
佐藤亜牙香 農業経営科3年
東海林さつき 農業経営科3年
佐々木丈流 農業環境科3年

海外フロンティア研修



流通ビジネス科学科長

日下部 雄

流通ビジネス科の海外フロンティア研修は、「ワークライフパランス先進国から学ぶ豊かな生き方について」というテーマで、幸福度の高い福祉先進国であるデンマーク・コペンハーゲンへの視察研修です。

メンバーは、希望者から作文・面接を経て選考された生徒で、高橋凌太（東根一中）、仲野里季（天童一中）、仁科恵（神町中）、野口未来（山形七中）の四名です。

事前準備として、研究テーマについての学習、地元ワークライフパランス優良企業である村山市の株式会社コヤマさんへの取材などを経験し、日本語でのプレゼン資料作成と、英語でのプレゼンの練習ととても忙しい中よく頑張りました。

主な旅行行程は、四月二十三日（日）山形空港出発、羽田空港、ロンドンヒースロー空港経由し、デンマーク・コペンハーゲン着。二十四日（月）「デンマーク女性社会」でデンマークにおける女性問題についてレクチャー。「デンマーク労働省」で福祉サービスについてレクチャー。

タイガー（デンマークに本社がある日本にも進出しているいわゆる百円ショップ）本社見学、「ソールゴーエン幼稚園」の見学とレクチャー。

二十六日（水）[SOSU SIJELLA ZD 高等学校]での研究発表と交流、[IRMA（高級スーパー）]の見学とレクチャー。

二十七日（木）[HANDELS SKOLE I BALLERUP 高等学校]での研究発表と交流

二十八日（金）二十九日（土）デンマーク・コペンハーゲン空港より日本へ。ロンドンヒースロー空港で乗り継ぎし、羽田空港経由し、山形空港へ。

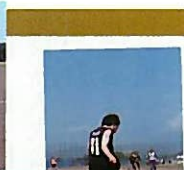
たいへん忙しい日程の中でしたが、多くのことを学び体験できた七日間でありました。あまり観光らしい観光はできませんでしたが、ガイドさんなしでバスを利用したり、買い物をする中で、普段はできない経験をたくさんできたと感じています。

デンマーク人との英語でコミュニケーションを取るのはいへんなどところは多々ありましたが、頑張って練習した英語で堂々と発表したり、踊りを一緒に踊ったり、日本のなものを試したりしてたくさん交流してきました。



流通ビジネス科の代表として参加してきたことに感謝し、この経験をこれから学校生活で発揮して欲しいものです。

クラスマッチ



部活動紹介【運動部編】

硬式テニス部

私達テニス部は五十人で活動しています。人数はとても多い中、三年生を中心に一丸となつて取り組んでいます。日々の練習が身を結んで新人戦では団体優勝、総体ではシングルス、ダブルス、団体で多数の人が県大会に出場することができました。

山岳部

三年七、二年二に加え、元気な一年生十名と前田陽一先生を迎えて賑やかに活動中。大会はタイムではなく安全登山の知識・技術を競います。

これまで地区大会↓県大会↓東北大会と勝ち続けています。この勢いで地元インターハイでも優勝し、秋の新チームへと良い伝統を繋げていきたい。



陸上競技部

陸上競技部は、全員の県大会出場、及び東北大会出場を

目標に毎日の練習に取り組んでいます。今年は惜しくも東北大会を逃してしまいました。しかし、新入部員である一年生やこれから部を背負う二年生が協力して、次こそは東北大会に出場できるよう努力していきます。

野球部

僕たち野球部は甲子園出場を目標に練習に取り組みしています。練習では一人一人が常に目的意識を持ち、個人のレベルアップとチームワークの向上を目指しています。目標に対する意識が薄れている場合はミーティングをして再確認するなど目標を常に意識するようにしています。



男子ハンドボール部

男子ハンドボール部は、二年生七名、一年生五名で日々の練習を頑張っています。新チームの目標は、県大会三位以上です。その目標を達成するために練習では常に声を出し、厳しく達成感のある練習を行っています。そして多くの試合に勝てるよう頑張るの応援よろしくお願いします。

バレーボール部

私たちは人数が少なく、限られた練習しかできません。ですが、できる範囲でメニューを考え、前よりしっかりと練習ができるようになりまし。自分たちらしい試合をし、大会で良い結果を残せるよう頑張っています。

柔道部

柔道部は毎日朝練と放課後の練習を行っています。朝練では、ダッシュや綱上り、球技を行い主に体力をつける内容です。放課後の練習では柔道を行い、立技・寝技の反復練習と試合を意識しながら行う乱取りをしています。このように県ベスト4目指して日々練習しています。



自転車競技部

自転車競技部は秋頃まで大会があり、東北大会が終った後、すぐ団体予選やミニ国体と大きな大会を迎えます。ま

だ力不足だったり、一年生は経験不足なところもありますが、全国に村山産業の名を轟かせれるよう頑張ります!!



バスケットボール部

バスケット部では、朝練などを通して毎日の練習を頑張っています。技術面の向上だけでなく、仲間との団結力を深めるために、一人一人が声を出しプレーするという事を意識しています。大会ではチーム全員で勝利をつかみとるために、今以上にチーム一丸となり練習に励んでいます。

卓球部

卓球部は、放課後等の時間を剣道部と前・後半に分け、剣道場をお借りして活動しています。本年度は、男女共に学校対抗戦で県大会出場を果たしました。今は一・二年生で活動し、秋の新人戦に向けて練習を続けています。

剣道部

新年度が始まって、部員が六人に増えました。これまで男子二人で剣道の練習をしていたのが、部員が増えて明

い部活になったのが剣道部にとつて大きな出来事です。今は、いろんな大会に出るようになり単独チームで出ることはこんなにもいいことなんだと改めて実感しました。



女子ハンドボール部

女子ハンドボール部は、二年生三人で活動しています。部員が少なく、基礎の練習を日々行なっています。体育館や外のハンドボールコートで大きな声を出しながら活動しています。大会に出場できるよう、部員集めを頑張ります。

サッカー部

サッカー部は、三年生十一人、二年生十一人、一年生九人の三十一人で活動しています。県大会出場を目標に日々練習に励んでいます。今後は、選手権大会県予選会や地区新人大会が行なわれますが、日頃の練習の成果を発揮出来るように頑張っていきたいと思っています。

